

11. タイ

■正式国名：タイ王国

Kingdom of Thailand

■政治形態：立憲君主制

■面積：51.4万km²（日本の約1.4倍）

■人口：7,170万人

■言語：タイ語

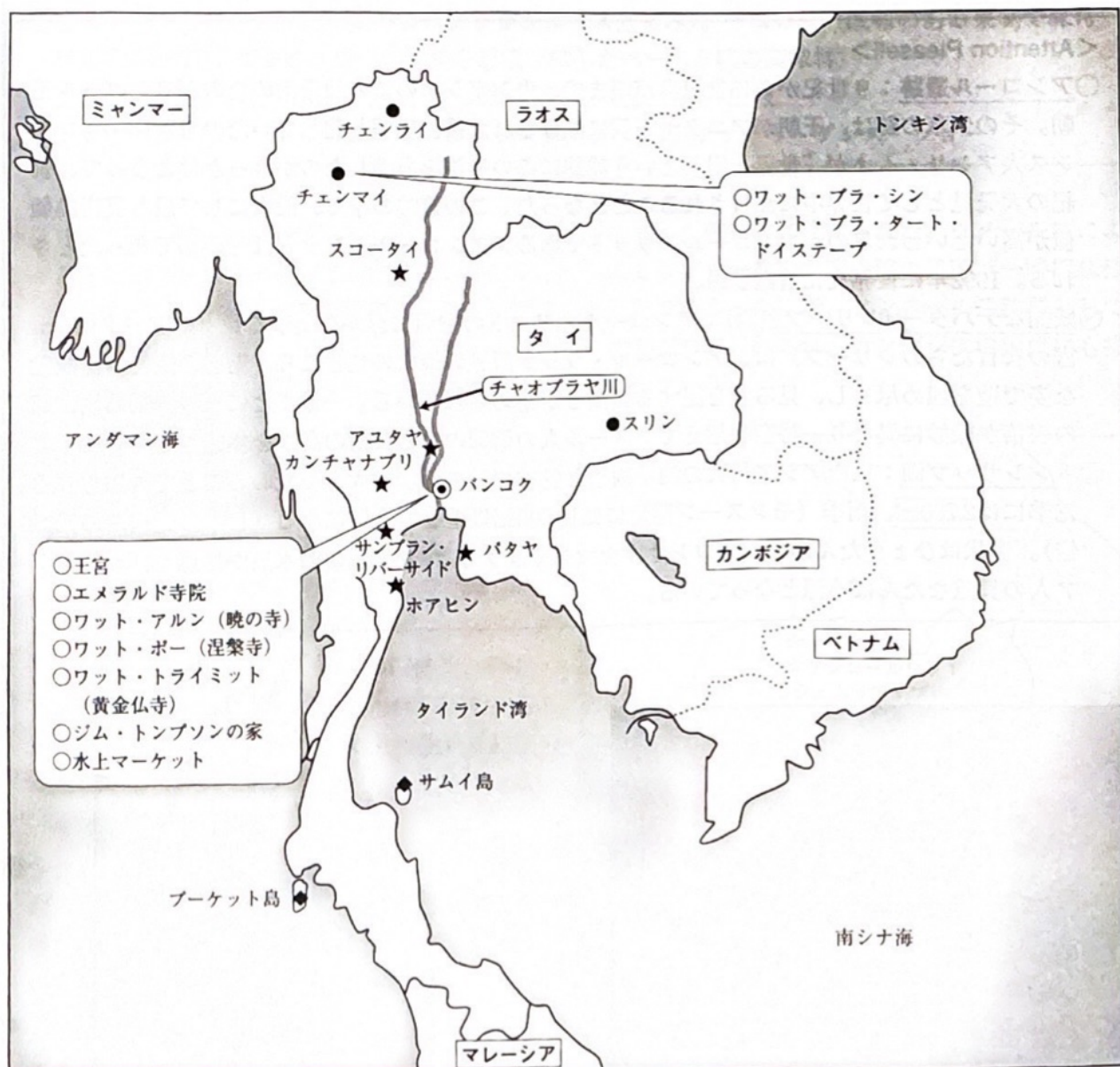
■通貨：バーツ（1バーツ＝4.5451円）

■住民：タイ系民族が80%。

■宗教：仏教が94%。寺院も数多く、宗派は上座部仏教（小乗仏教）。

■地勢：北部では1,500mを超える山地、半島部は花崗岩主体の山地、また東部は高原。中央のチャオブラヤ川下流のデルタ地帯が平野で国土の心臓部をなす。

■気候：全般に熱帯モンスーン気候で高温多雨。5～10月が雨季で、12～2月が乾季である。



- 観光：世界遺産の遺跡巡り。ダムヌン水上マーケット観光
- 名物料理：トムヤムクン(酸味が効いた辛いエビなどの海鮮スープ)。タイスキ(タイ風しゃぶしゃぶ)。プーパッポンカレー (カニカレー炒め)
- 土産品：タイ・シルク。綿織物。宝石類。木彫製品。竹細工。山岳民族の手工芸品
- アトラクション：タイ古典舞踊。タイ・ボクシング。象のショー (チェンマイ郊外のメーサ・エレファント・キャンプ)。スリンの象祭り (11月)

●バンコク (Bangkok)

チャオプラヤ川沿いにある、1782年から現在まで続くチャクリ王朝の首都で、政治・経済の中心地。最大の繁華街はシーロムロード。人口842万人。

○王宮／1782年に建設が始まったタイ様式とイタリア・ルネサンス様式の混合建築で、タイ王国の象徴的建物。ただし、実際には、前国王以降ここでは国王は居住及び執務を行っていない。

○エメラルド寺院／正式名はワット・ブラ・ケオ。王宮に隣接する国王と王妃専用の神殿として1782年に建立。本堂には、エメラルド仏(プラケオ)が安置されている。

○ワット・アルン(暁の寺)／5基の仏塔をもち、ヒンドゥー教の影響を受けている。明け方に眺める姿が美しい。三島由紀夫の小説「暁の寺」の舞台のチャオプラヤ川の川沿いにたたずむ。

○ワット・ポー(涅槃寺)／18世紀建立のバンコク最古・最大の寺院。全長46m、高さ15mの涅槃仏が横たわる。

○ワット・トライミット(黄金仏寺)／純度60%、高さ3m、重さ5.5トンの地金でできた黄金仏がある。チャイナ・タウンの中心にある。

○ジム・トンブソンの家／タイ・シルクを世界に広めたトンブソンの古美術品のコレクションなどが展示されている。

○水上マーケット／バンコク周辺には、いくつかの水上マーケットがある。そのうちのひとつが、バンコクの南西約80kmに造られた政府開発のダムヌン・サドゥアック水上マーケット。(Attention Please参照。)

★スアン・サンブラーン (旧称ローズガーデン)

バンコクの西32kmにあるテーマパーク。最大の目玉はタイ・ビレッジ・カルチャー・ショー。

★アユタヤ (Ayutthaya)

バンコクの北約70km、チャオプラヤ川など3つの川の合流点にある、14～18世紀に栄えたアユタヤ王朝の首都であった都市。1612年に朱印船でタイ(当時シャム)に渡った山田長政が日本人町を運営したことで知られる。ワット・ブラ・シー・サンベット(アユタヤ王の遺骨を収めた3本の仏塔を含む仏教施設)、ワット・ブラ・マハタート(菩提樹に取り込まれた仏頭で有名)、ウィハーン・ブラ・モンコン・ポビット、ワット・ブラ・ラーム(トウモロコシ型大仏塔で有名)、日本人町跡、郊外にはアユタヤ歴代の王が夏の居所として使用したバンパイン宮殿などがある。

★カンチャナブリ (Kanchanaburi)

バンコクの西130kmにある自然豊かな町。郊外に映画「戦場にかける橋」で有名な第2次世界大戦の戦跡がある。クワイ川鉄橋、日本軍慰霊塔などが見どころ。

★パタヤ (Pattaya)

バンコクの南150km、タイランド湾の北岸に位置する。パタヤ・ビーチ、ジョムティエン・ビーチ、ラン島と人気スポットの多いタイ最大の海浜リゾート。

◆プーケット島 (Phuket Island)

バンコクの南約600kmにある「アンダマン海の真珠」と呼ばれる島。タイ最大の島であり、近年観光

開発が急速に進み、高級リゾートホテルが林立している。最大のビーチであるパトン・ビーチをはじめ、カロン・ビーチ、バンタオ・ビーチなどのビーチが有名。ダイビングのメッカとしても有名。

★ホアヒン (Hua Hin)

バンコクの南200km、古くからタイ王室の避暑地として利用されてきた上品な雰囲気のある海浜リゾート。

◆サムイ島 (Samui Island)

バンコクの南約500km、タイランド湾に浮かぶ、別名「ココナッツ・アイランド」と呼ばれる自然の美しさで人気が出てきたリゾート。島の東岸のチャウエンビーチが観光の中心。

★スコートイ (Sukhothai)

タイ族最初の統一国家（スコートイ王朝）が13～15世紀に都を置いた古都。タイ文化の原点を偲ばせる90近い遺跡、スコートイ遺跡公園（ワット・スラシー、ワット・マハタート、ワット・シーチュム、ワット・シーサワイ、国立博物館）がある。1991年世界遺産登録。

●チェンマイ (Chiangmai)

「北方のバラ」と呼ばれるタイ北部最大の都市。13世紀より約300年にわたりランナータイ王国の首都として栄えた。郊外にはメーサ・エレファント・キャンプ（象のショーが人気）がある。人口168万人。

○ワット・ブラ・シン/1345年に建立。チェンライから移されたタイ北部で最も神聖とされていた貴重な仏像がある、チェンマイ最大で最も格式の高い寺院。

○ワット・ブラ・タート・ドイ・ステープ/市の西方のドイ・ステープ山の山頂（標高1,080m）にある名刹。山頂までは2匹のナーガ（蛇神）に両側を守られた階段を上る。展望台からは、市街を一望できる。

●チェンライ (Chiangrai)

チェンマイから約180km、コック川沿いにあるタイ北部第2の都市。13世紀のランナー王朝の都であった。ワット・ブラ・シン、ワット・ブラケオなどの寺院が多い。トレッキング・ツアーの基地。

<Attention Please!!>

○イースタン&オリエンタル・エクスプレス：タイのバンコクからマレーシアを経てシンガポールまで、2泊3日かけて走行する豪華列車、「アジアのオリент急行」といわれる。

○ダムヌン水上マーケット：バンコクから車で南西へ約1時間半の所にあるダムヌン・サドゥアック運河は、舟いっぱい食料や生活用品を積んで商いをする人々とそれを見物に来る人々で賑わう。バンコク市内では姿を消してしまった水上マーケット探訪コースとしてお勧め。

○トゥクトゥク：タイを走る三輪車タクシーの愛称。正式には「サムロー・タクシー」と呼ばれるが、その軽快なエンジン音から「トゥクトゥク」と呼ばれ、市民に親しまれている。料金メーターはなく、交渉で料金は決まる。



ワット・ブラ・ケオ (エメラルド寺院・バンコク)



ワット・ブラ・マハタート (アユタヤ)